

革新医療創生CHIBA卓越大学院

MEXT Doctoral Program for
World-leading Innovative & Smart Education

Vol.6

NEWS LETTER

iMeC

WISE

XU KAIYUAN
MIYATA TOMOKI

このプログラムは…

革新医療創生を担う卓越した『知のプロフェッショナル』を養成することを目指しています。医学をはじめ、9専攻の修士課程と、先端医学薬学専攻の4年博士課程を一貫した6年制の新しい大学院教育プログラムです。革新的な医療を創生するイノベーターとして、新たな医学の知の創出や社会実装に貢献できる能力を習得すべく、既存の枠を超えて組織されたクラスター制CHIBA教育システムや特別な教育カリキュラムによって、高度な専門性と俯瞰力、独創力、チャレンジ精神などを培います。

卓越教養特論



卓越教養特論では各研究分野の著名な先生方をお招きしてご講演いただいております。自身の専攻にとどまらず、さまざまな分野のお話を聞くことで視野を広げることができます。

革新医療創生演習



各研究室を数日間かけて訪問し、最先端の技術や知見を得ることができます。思わぬところで自身の研究に活かされることもあります。

リトリート



グループごとに英語でビジネスプランの発表を行います。実際に起業した方のお話を聞く機会もあります。

実践英語



英語で自身の研究分野について発表することでプレゼンテーション能力や会話力が鍛えられます。

大学院教育改革フォーラム2025



優秀賞を受賞した
武藤大将さん(左)
加納永梧さん(右)

『博士の可能性、社会の未来』をテーマに開催された本フォーラムでは、博士人材のキャリアをめぐる講演やディスカッションに加え、100名以上の学生が参加したグループ発表企画が行われました。これらの取り組みを通して、博士課程での学びが社会とその未来にどのように結びつくのか、多角的な視点から考える機会となりました。最終日にはグループ発表企画において投票が行われ、本プログラムの学生が優秀賞および特別賞に選出されました。

卓越6期生の紹介

4年博士課程



娜迪熱 阿西木

- ① 認知行動生理学
- ② 全般性不安症および社会不安症患者における拡散テンソル画像(DTI)研究
- ③ 犬の散歩、歴史書の読書など

④ 挑んだ。失敗した。それでもいい。もう一度挑め。失敗せよ。より良く失敗せよ。

①所属研究室

②研究テーマ

③趣味

④座右の銘



趙 福江

- ① 真菌医学研究センター病原機能分野研究室
- ② 病原性真菌の免疫回避機構
- ③ 寝る、映画・ドラマ鑑賞

④ 自分は自分、人は人



大野 元暉

- ① 疾患システム医学
- ② 心臓常在マクロファージへのストレス記憶刻印の分子的基盤の解明
- ③ サイクリング

④ Hab' ein Lied auf den Lippen (くちびるに歌をもて)



張 岩

- ① 人工知能AI医学
- ② マルチモーダル生体信号を用いた疾患・健康状態評価フレームワークの構築
- ③ 読書、バドミントン

④ 人間万事塞翁が馬



馬 瑞晨

- ① 実験免疫学
- ② 抗腫瘍免疫応答の発生源および免疫微小環境が多様なT細胞サブセットの分化、活性化、並びに運命決定の制御に関わる分子機構の解明
- ③ 写真撮影、カフェ巡り、旅行

④ 好奇心を忘れず、前に進み続ける



徐 開元

- ① 消化器内科学
- ② 活性化肝星細胞指向性ドラッグデリバリーによる肝繊維化治療法の開発
- ③ 音楽を聴くこと、旅行、スキー

④ 歩み続ければ、必ず辿り着く



楊 芸芃

- ① 代謝生理学
- ② 糖尿病・肥満・内分泌疾患の研究
- ③ 筋トレ、登山、キャンプ

④ きっと大丈夫

修士・博士一貫教育課程



三原 悠慎

- ① 薬化学
- ② 2-ピリジリケテンを用いたジアステレオ選択的なクロスピナコールカップリング反応の開発
- ③ ナイトクラブに行く

④ 求めよ、さらば与えられん



宮田 智生

- ① 生化学
- ② 高脂肪食過食ゼブラフィッシュにおけるインスリン動態解析とuoxノックアウトモデルを用いた新たな耐糖能異常モデル構築
- ③ バンド、プラモデル

④ 大器晩成

修了生の紹介

辻 香織(免疫発生学)



私は修士課程から博士課程までの6年間、卓越大学院プログラムに在籍し、多くの貴重な経験を積むことができました。革新医療創生実習や卓越教養特論における分野横断的な交流を通して、専門分野の深化に加え、広い視野と柔軟な思考を養うことができたと感じております。本プログラムで培った経験とご縁を今後の歩みに生かしてまいります。これまでご指導・ご支援を賜りました先生方、ならびにプログラムを支えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。

込山 大智(分子腫瘍学)



卓越大学院を通じて専門分野を越えた学びと人のネットワークを得られ、研究を多角的に捉える視点が養われました。ご指導くださった先生方、プログラム担当者の方々、支えてくださったすべての皆様に心より感謝いたします。

北川 恭太(整形外科学)



大学院在学中は、臨床で生じる疑問を出発点に、データを用いて検証し、結果を再び診療に還元するという研究の流れを実践できたことが大きな財産となりました。分野の異なる先生方からの助言や、同級生との議論を通じて視野が広がり、研究の進め方や発信の仕方も磨かれたと感じています。ご指導いただいた先生方、支えてくださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も学びを継続し、臨床と研究の双方から脊髄損傷診療の発展に貢献していきたいと思っております。

山崎 佳穂(腎臓内科学)



私は臨床医として腎疾患の未解明な進展機構の解明を志し、卓越大学院に入学しました。産休を経て子育て・臨床と両立しながら研究に取り組みさせていただいた5年間は多くの試行錯誤の連続でしたが、指導者に支えられ成果をまとめることができました。特に革新医療創生演習などを通じ、最先端の研究やベンチャー起業に触れる貴重な機会を得たことは、研究への大きなモチベーションとなりました。ご指導いただいた先生方と事務局の皆様へ厚く御礼申し上げます。

瀧 由樹(分子病態解析学)



本プログラムを通じて研究活動のご支援を賜りましたことをこの場を借りて深く御礼申し上げます。この4年間、シングルセルや空間トランスクリプトーム解析といった最新の技術を使って副腎腫瘍の病態解明に取り組んでまいりました。今後は博士課程で培った経験を活かしていきたいと思っております。

小島 以織(脳神経外科学)



卓越大学院プログラムを通じて、医学分野にとどまらず幅広い専門領域に触れる貴重な機会を得ました。異分野の研究者との交流は大きな刺激となり、自身の研究視野を広げる契機となりました。本プログラムは分野横断的連携を促進する極めて意義深い取り組みであると感じています。

長沢 思音(疾患システム医学)



卓越大学院に所属した4年間、多大なるサポートをいただき感謝しています。特に、卓越教養特論では、担当者として他大学の先生方と関わることで、良い刺激を受けることができました。卓越大学院の仲間とのつながりもでき、大変うれしく思います。

田代 奨(イノベーション再生医学)



本プログラムを通して医学以外にも原子力、宇宙、半導体、行動経済学など幅広い分野を学ぶ機会を得ました。専門外の知見に触れ、教養の裾野を広げることができました。ご指導いただいた先生方、サポートいただいたスタッフの皆様へ心より感謝申し上げます。

宮下 靖臣(発生再生医学)



本プログラムを通じて、分野を越えた交流から多角的な視点の大切さを学びました。研究の背景や社会的意義を意識する姿勢を、今後の研究に生かしていきたいと考えています。先生方ならびに関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

加納 永梧(生化学)



卓越のカリキュラムは、「アクティブな研究者になる」という、私の入学時の目標に最適でした。特に演習から派生した共同研究経験や、出会った他分野の仲間たちは、貴重な財産になりました。支えてくださった人に感謝申し上げます。

